

Press Release

Mar 3, 2021 | ID: 21-S009

ボルボ・カー・ジャパン 2025 年に EV 販売比率 35%へ

ボルボ・カー・ジャパン株式会社(代表取締役: マーティン・パーソン、本社: 東京都港区)は、2025 年の段階で販売するモデルの約 35%を EV とすることを目指し、2030 年には国内で販売するすべてのモデルを EV のみとすることを発表しました。

昨夜、ボルボ・カーズは、急成長するプレミアム電気自動車市場のリーダーになることを目指し、2030 年までに完全な電気自動車メーカーになることを発表しました。それは、2030 年に向けて電気自動車(EV)のみを製造し、ハイブリッド車を含む内燃機関を搭載した車を全世界で段階的に廃止することを意味しています。

この発表に伴い、国内においても段階的にハイブリッド車を含む内燃機関を搭載した車に代え EV の販売比率を高め、2025 年には 35%、2030 年には 100%を目指します。より具体的には 2025 年の段階で、年間販売目標 25,000 台のうち約 35%となる 9,000 台弱の EV 販売を目指すこととなります。

2030 年にすべてのモデルを EV 化する第一歩として、昨夜発表されたクロスオーバーEV モデル「C40」を今秋国内導入いたします。新しい「C40」は EV 専用モデルとして設計された最初の車両で、ゼロエミッションの未来へ向けたコミットメントの現れでもあります。

「C40」は、既存の「S」「V」「XC」からなるボディタイプとは異なる、クロスオーバータイプの SUV で、緩やかな傾斜を伴うルーファインと印象的なリアエンドデザインを特徴としています。新しいフロントデザインは、EV ボルボの新しい顔を表し、ヘッドライトは最先端のピクセルテクノロジーを備えています。その他、Google と共同開発された Android オペレーティングシステムを採用した新しいインフォテインメントシステムや、ソフトウェアのアップデートをオンラインにて実施するなど、既存モデルにはない新しい取り組みがなされています。

また、お客様の利便性の飛躍的な向上を図るために、今後導入するすべての EV モデルはオンライン販売のみとなります。併せて、当初導入する 100 台の「C40」は新しいサブスクリプションのプランをご用意します。これはボルボ・カーズが掲げる「Freedom to Move(モビリティの自由)」をより具現化する為に、お客様のライフスタイルの変化に合わせ、短期での契約終了であっても追加負担なくクルマを手放すことができる画期的なものです。詳細につきましては今秋「C40」販売開始時にご案内いたします。

ボルボ・カーズにとって「サステナブル」は、単に電動車のラインナップを拡充するだけではありません。開発、製造、使用、リサイクル、リユース、すべての領域において、包括的な視点から取り組み、2040 年のクライメートニュートラルの実現を目指しています。日本国内も秋の「C40」導入に合わせ販売店での再生可能エネルギー活用から具体的な展開を図ってまいります。

報道関係お問合せ先

ボルボ・カー・ジャパン マーケティンググループ 広報チーム

vcjpr@volvocars.com

Related Images



[More Images >](#)

Copyright © 2021 Volvo Car Japan Limited